



2 エッセイ／“おかね”を語る
金利を二倍にしたかったら 作家 阿刀田 高

4 インタビュー／扉を開く
木村泰子 大阪市立大空小学校 初代校長
すべての子の学習権を保障する「みんなの学校」を率いた校長の挑戦



9 地域の底力——岩手県久慈市
苦難を乗り越え地道な努力を重ねながら
未来を切り拓く岩手県久慈市



16 対談／守・破・創
佐藤忠男 映画評論家・日本映画大学名誉学長
原田 泰 日本銀行政策委員会 審議委員
知られざる映画に光を当て「批評の力」で世界へ伝える

21 FOCUS → BOJ 29 日本銀行国際局 国際連携課の仕事
日本初開催のG20を総力をあげてサポート

日本銀行のレポートから

26 「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) — 2019年7月—

28 「地域経済報告」(さくらレポート) — 2019年7月—

別冊「インバウンドの現状：
企業等の取り組みと地域活性化の注目点」— 2019年6月—



36 トピックス
福島支店は開設120周年を迎えました ほか

39 AIR MAIL from London
イギリスの底力—日本文化受容の「広がり」と「深さ」

表紙のことば

日本銀行松本支店は、大正三年（一九一四）に日本銀行一〇番目の支店として、長野県松本市本町三丁目開設されました。

支店設置場所の選定にあたっては長野市も候補に挙がりましたが、当時、長野県だけでなく山梨県も管轄するために、これら中心部に位置し関東や関西とのアクセスが良好であったことや、わが国の重要な産業のひとつであった製糸業の集積地に近かったことから、松本市が選ばれました（現在は長野県のみ管轄）。

初代店舗は、当時としては斬新な洋館で、近代の学校建築で初めての国宝指定となる旧開智学校と並び称されるスマートな建築でした。

表紙の現店舗は、初代店舗の老朽化に伴い、昭和三十三年（一九五八）に松本市丸の内三丁目に移築されたものです。堀をひとつ隔てて国宝松本城があり、その漆黒とあでやかなコントラストを見せています。現店舗竣工から六〇年以上にわたって、松本支店は松本の街を見守り続けています。



表紙・画 北村公司